

8月24日（土）13:30より、田中先生による第一回目の席上揮毫が開催されました。

ラウンジを会場にして、机の上に長い紙を置き筆を自在に使って、残暑見舞いを書き上げました。

先生は、字の形にこだわらず、まずは書くことが大事で自分が手紙を書けば、相手も必ず返事を書いてくれ、メールと違って、いつまでも大事に残すことができると話されました。

会期中8回の席上揮毫が行われます。書家の力強い筆使いを間近でご覧ください。

